第 5 回　S2-sci 研究会　議事メモ

日時：2019 年 1 月 17 日　14：00－17：00

場所：東京、長岡技術大学サテライトオフィス（東工大 田町 CIC）

出席者：6 名

戸枝（主査）、今枝、土井、畑、福田、浅井（記録）

議事内容

1．趣旨説明

研究会設立申請書の目的及び調査研究事項の説明

i) 既存の Safety と Security 基準・規格を俯瞰する
ii) 我が国の産業政策である Socity5.0 および Connected Industries を支える Safety と Security の要求事項を研究する。
iii) 上記要求事項を JSME 基準として取りまとめる。合わせて、ISO 化も視野に入れる。
iv) 3 年以内にアウトプットする。ただし、2019 年 4 月にドラフトの報告を予定。

2．前回の議事録確認（第 4 回）

3．議題

i) 日本機械学会基準（案）の紹介　戸枝
   a. 序章　各自要 Review、修正案があれば次回までに提案して欲しい。
      →Scope の見直しが必要（もう少し明確化した方が良い）。：福田先生
   b. 適用範囲以降は、ISO 12100 を参照した。
   c. 「セキュリティ」という KEYWORD を取れば、ISO 12100 とほぼ同じ。
   d. 基準の内容は、機械屋向けのセキュリティに特化したい。
   e. 物理的セキュリティについても記述する。
      例：壊す、使えなくする、鍵をかける等々。
   f. SCS（Safety related Control System）にのみフォーカスする。>>> **ここ重要**
      →「人の安全にかかわる制御をセキュリティ脅威から守る」ことに特化。

>>>　研究会としての認識を合わせるために、各自考えていただきたい。

意見交換

- ISO 12100 は、すべての柱として利用できる。
- 経産省の「サイバー・フィジカル・セキュリティ対策 フレームワーク（案）も同様に ISO 12100 に沿っている。
- 被害想定を具体的に提示する方が良い（5 章　5.1～）。
- Annex にケーススタディを入れると分かりやすい。
- IEC 63074 との違いを具体的にみせたい。

ii)　次回までの宿題

a. Scope の見直し　**福田先生**

b. 付属書 A、B、C について、項目は 4 章から 7 章まで参考にして作成

各委員(全員)

当日配布資料

- 日本機械学会基準（案）　JSME S0xx-2019
- サイバー・フィジカル・セキュリティ対策　フレームワーク（案）

4. 次回予定

4 月 18 日(木)　14 時-17 時

~~(仮) 長岡技術大学サテライトオフィス 東工大田町 CIC~~

日本機械学会第 2 会議室

JR 東日本 信濃町駅徒歩 3 分　信濃町煉瓦館 5 階

https://www.jsme.or.jp/about/about-jsme/access/

トピック：TBD

以　上